

2019年2月2日、発達障害研究所「県民講座」を開催しました。

「てんかんの仕組みとコントロールへの取り組み」

発達障害研究所「県民講座」を、2月2日（土）の午後1時30分から4時30分まで、電気文化会館イベントホールにて、「てんかんの仕組みとコントロールへの取り組み」というテーマで開催し、定員の150名を超える参加者がありました。

本年度は、愛知県心身障害者コロニー・中央病院 小児神経科の小川 千香子医師による「一つのとんかん、一つの発作から」、同発達障害研究所 周生期学部の浅井 真人部長による「ハツカネズミを使ったてんかんの仕組みの研究」、名古屋大学医学部 障害児（者）医療



学講座の夏目 淳教授による「てんかんって何？発作への対応から最新トピックスまで」と題した講演が行われました。講演後の総合討論・質疑応答では、参加者から多数の質問が出され、予定時間を超過するほどの活発な討論が行われました。

今年度も盛会のうちに終了しました。ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。



(写真左から、小川 千香子先生、浅井 真人先生、夏目 淳先生)